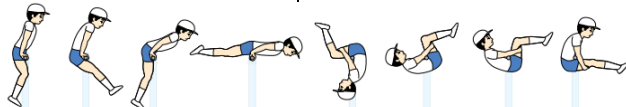


時	1	2	3	4	5	6	7	8
目標	【知識及び技能】鉄棒運動では、その行い方を知るとともに、支持系の基本的な技をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】自己の能力に適した課題を見つけ、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】鉄棒運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気をつけたりすることができるようにする。							
コア技術	かかえこみ前回り ① 脇を締めてひじを鉄棒に固定し、両手で太ももを持っている。(肘ロック) ② ブランコのように体と膝の曲げ伸ばしで勢いをつけて回っている。			かかえこみ後ろ回り ① 脇を締めてひじを鉄棒に固定し、両手で太ももを持っている。(肘ロック) ② ブランコのように体と膝の曲げ伸ばしで勢いをつけて回っている。 ③ 足を伸ばして、胸に引き付け胸の反りで体を後ろに倒している。				
めあて	だんご虫・だるま回りをしよう。	お手伝いだるま回りをしよう。	前だるま回りをしよう。	後ろだるま回りのポイントを知ろう。	足ふりでいきおいをつけ、体を大きくふろう。	足ふりでいきおいをつけ、頭を鉄棒の上まで上げよ	足ふりでいきおいをつけて、後ろだるま回りをしよう。	発表会をしよう。
指導内容	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 鉄棒への慣れの運動 脇しめ・肘ロックゲーム 3. ダンゴ虫 鉄棒を逆手で持ち、肘と膝を曲げて小さくなる。あごを鉄棒より上に出した状態で10秒程度保つ。 4. だるま回りコア習得 だるまの姿勢で大きく足を振る練習【大きなスイング】  かかわりあい 脇しめ・ひじロックゲームの際、ペアで回数を数える。 5. 学習のまとめ 6. 振り返り	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 鉄棒への慣れの運動 脇しめ・肘ロックゲーム 大きなスイング 3. お手伝いだるま回り 補助は、一人。必要であれば二人。だるま回りをする児童と同じ側に立って行く。  かかわりあい 補助…背中を持ち上げるように補助をする。太ももの後ろも支えるようにする。 声かけ…「イーチ、ニーのサン」と声かけをしながら回す。大きなスイングをする時、「遠く!」と声かけをする。 4. 学習のまとめ 5. 振り返り	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 鉄棒への慣れの運動 脇しめ・肘ロックゲーム 大きなスイング 3. お手伝いだるま回り 補助は、一人。必要であれば二人。だるま回りをする児童と同じ側に立って行く。 4. 前だるま回り ・ 脇をしめて膝の後ろを持って、大きなスイングをする。首を上げ下げし、目線に気を付ける。 ・ 「イーチ、ニーのサン」のタイミングで回る。 5. 学習のまとめ 6. 振り返り	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 鉄棒への慣れの動き ① ふとんほし ② ふとんほしふり ③ だるま回りの姿勢の確認。 ➡脇しめ、肘ロック 手の位置の確認。 地面に座ったまま、だるま回りの姿勢で足の曲げ伸ばしをして、ブランコふりを意識させる。 ④ 前だるま回り 3. 後ろだるま回りのポイントの発見 手本や動画を見ながらポイントを考える。 前だるま回りとの違いを考えさせる。 【後ろだるま回りのポイント】 ① 脇しめ、肘ロック ② 足のブランコ振 ③ 胸をそり、あごを上げ下げする。目線は空。(前だるま回りと違う所) 4. 学習のまとめ 5. 振り返り	1. 準備運動(加茂小体操) 2. 鉄棒への慣れの動き ふとんほし、ふとんほしふり、だるま回りの姿勢の確認 3. 後ろだるま回りのポイントの確認 ① 脇しめ、肘ロック。 ② 足のブランコ振り。(鉄棒は腰骨に当てると痛くない。) ③ 胸を反らせる。あごの上げ下げ。 4. 後ろだるま回り ① 体を揺らし、体が背中側から起き上がってきたタイミングで足を曲げて、胸を反らす。目線は空を見る。あごを上げる。 ② 背中から後ろに落ちてきたら、足を伸ばして勢いをつける。 ③ 足の曲げ伸ばしのタイミングがだるま回り(前)と異なる。  かかわりあい ① 補助はふとんほしになった児童の手前に立つ。 ② 補助は背中と太ももを持って回してあげる。 ③ 揺れに合わせて「いち、に、さん」と体を持ち上げて回転を助ける。(本人と打ち合わせて、三回目の揺れで回しておくとし恐怖心も和らぐ。) ④ 回転軸がぶれると回転した時に脇で鉄棒にぶら下がる格好になるので、しっかりと補助をする。 ⑤ グループの中で観察者①足を振れているか②胸を反らせているかを見てチェックし、アドバイスし合うようにする。 5. 学習のまとめ 6. 振り返り			1. 準備運動(加茂小体操) 2. 発表方法の確認 3. 発表会 ・ VTRの撮影 ・ 技の出来映えについて助言し合う。 4. 学習のまとめ 5. 振り返り
	必要に応じて動画を見て、完成形をイメージさせる。	・ 大きなスイングをする際、あごの上げ下げを意識させるようにする。また、遠くを見るように声かけをし、目線に気をつけさせる。 ・ 脇をしめて、肘が鉄棒に付くようにし、肘を重心にして回るようにさせる。基本姿勢が崩れないように意識させる。		・ だるま回りの時に腕を鉄棒の上からかけたり、足が交差したりしないようにする。 ・ 脇の締め方が甘いと脇に鉄棒が入り込んでしまつて回れなくなるので、脇をしっかりと締めるようコア技術の確認をさせ、ペアで見合わせる。	・ 後ろだるま回りができた子や補助によってできた子に技を発表させる。技ができたポイントや上手な補助の仕方について交流し、コア技術を再確認する。グループの中でお互いがアドバイスしたり、補助をしたりすることで、生き生きと活動できる子ども同士の関わりにつなげる。教師からも個別の課題提示や補助をする。 ・ 肘ロックがゆるい→太もみにチューブを巻き付けて握らせる。 ・ 怖さで振りが弱い→教師の補助で安心感を与える。 ・ 足の振り方が弱い→ブランコ振りで胸を反らせ、回転半径を大きくし回転力を高める。 ・ できる子ども同士の関わりにつなげる。教師からも個別に課題提示とアドバイスをする。 ・ 後ろだるま回りができた児童は、連続の後ろだるま回りにチャレンジさせる。			
知					①観察・カード	①観察・カード	①観察・カード	②観察・ICT
思				②観察・カード	①カード	①カード	①カード	②観察・カード
態	③観察	②観察	①観察・カード	④観察・カード	⑤観察	④観察	①観察	

単元の評価規準

【鉄棒 かかえ込み前回り→かかえこみ後ろ回り】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①鉄棒運動の行い方について，言ったり実際に動いたりしている。 ②支持の姿勢から腰を曲げながら上体を後方へ倒し，手で足を抱え込んで回転することができる。	①上手くできたところやできなかったところを，学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり，シールを貼ったりして，自己の能力に適した課題を見付けている。 ②技のできばえを視覚的に振り返って，自己の能力に適した課題を見つけている。	①鉄棒運動の基本的な技であるかかえ込み前回りやかかえ込み後周りに進んで取り組もうとしている。 ②きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ③場の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。 ④友達の考えを認めようとしている。 ⑤場の安全に気を付けている。

【単元の評価規準を基にした「十分満足できる姿」】

（１）知識・技能

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① かかえ込み回りの行い方について，言ったり実際に動いたりしている。	・ かかえ込み回りの留意点を友達や教師に詳しく伝えたり，カードに書いたりすることができる。
② 支持の姿勢から腰を曲げながら上体を後方へ倒し，手で足を抱え込んで回転することができる。	・ かかえ込み回りを連続して行うことができる。

（２）思考・判断・表現

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 上手くできたところやできなかったところを，学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり，シールを貼ったりして，自己の能力に適した課題を見付けている。	・ 上手くできたところやできなかったところを，学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり，シールを貼ったりして，自己の能力に適した課題の解決方法を見付けている。
② 技のできばえを視覚的に振り返って，自己の能力に適した課題を見つけている。	・ 友達のよい動きや特徴を，擬態語や身振り手振りなど多様な表現を用いて具体的に友達に伝えたり，カードに書いたりすることができる。

（３）主体的に学習に取り組む態度

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 鉄棒運動の基本的な技であるかかえ込み前回りやかかえ込み後周りに進んで取り組もうとしている。	・ かかえ込み回りから多様なかかえ込み回りを試している。
② きまりを守り，誰とでも仲よく励まし合おうとしている。	・ 誰とでも励ましあい，自分の考えを伝えるなど助言をしようとしている。
③ 場の準備や片付けを，友達と一緒にしようとしている。	・ 場の準備や片づけを率先して行っている。
④ 友達の考えを認めようとしている。	・ 友達の考えを参考に，技に取り組もうとしている。
⑤ 場の安全に気を付けている。	・ 自分の安全だけではなく，周囲の安全にも気を配っている。